



社会福祉法人青森社会福祉振興団

まるめろ通信

【まるめろ通信 / 第 167 号】

特養 みちのく荘 ☎ 0175(23)1600
特養 金谷みちのく荘 ☎ 0175(23)0781
みちのくクリニック ☎ 0175(23)1171
特養 まるめろ ☎ 022(797)0273



可愛いひ孫を抱いて口元がほころぶ直作さん

孫やひ孫の成長を見守れるように
これからも元気に、毎日を大切に過ごしていきます。

おおた なおさく
太田 直作さん

昭和4年9月生まれ 95歳 / むつ市金曲出身

私の小径
こみち

太田直作さんは、農業をしていた両親のもと、8人兄妹の長男として、むつ市金曲に生まれました。

小さい頃から実家の農業の手伝いをし、戦時中でも食べるものに苦労することはありましたが、遊びや学びの機会は限られていました。

14歳の時には、自ら軍隊へ志願しました。戦時中は、大湊海軍航空隊の補給部に所属し、爆弾や食料等の物資の調達や補給などの任務についていました。幸い戦地に送り込まれることはなく終戦を迎えました。

自動車の修理等を教え込まれていたため、戦後は鉄工所や土木建設会社で働きました。忙しく仕事に励むなか、妻のつなさんと24歳の頃に結婚、3人の子宝に恵まれます。

その日の仕事内容や反省点を帳面に書き記すなど、直作さんの真面目な仕事ぶりが評価され、青森や八戸など県内各地の大きな岸壁建設に従事しました。鉄筋コンクリート製で重さ850トンにもなるケーソンを造り、それを海に運んで岸壁を築く作業は時間がかかるため、数ヶ月の間、家族のもとを離れなければならませんでした。そのため、土木の仕事辞めて妻と一緒に農業を始めようと考えたことが、何度もありました。

一念発起して、52歳で専業農家となり、妻と協力して農地を広げました。トラクターやコンバイン等を一人で使いこなし、「よその人が田んぼにしないような土地を整理して、八町歩分も田んぼにしたもんだ」と、当時を懐かしく振り返ります。

「土木をしていた時も、百姓やっていた時もただ、ただ働くことだけ考えてきた。働くことが生きが이었다。」と話してくれた直作さん。

とにかく働き者で、大きなケガや病氣もせずに過ごしてきましたが、94歳の時、事故により左足を骨折してしまいました。それ以降、歩くことが大変になり、徐々にむせやよく食事が摂れなくなったのを機に、栄養を補う点滴や体調管理のため、「みちのく訪問看護ステーション」を利用するようになりました。

「体調に不安があっても、看護師が家にきてくれるから安心だ」と話します。

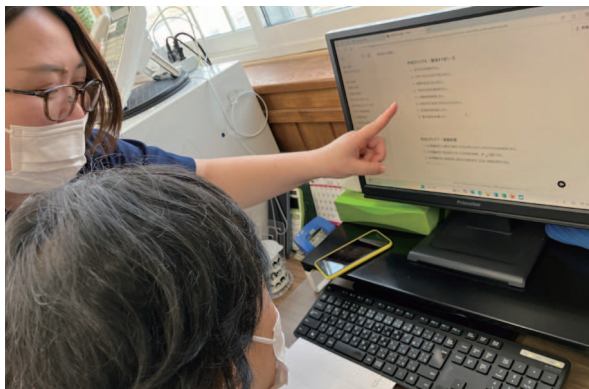
現在は、楽しみだった畑仕事を続けることは難しくなりましたが、家の裏にあるビニールハウスを見に行ったり、自分の洗濯物を干したり、看護師から教えてもらった飲み込む力をつける体操をする等、自分で出来ることを日々続けています。

時々、気持ちが落ち込むこともありますが、毎日送られてくる、ひ孫の写真を見るたびに、心がほかほかと温かくなり、自然と笑顔がこぼれます。明日もがんばろうと思う、直作さんです。

※海底に沈めて設置し、防波堤や橋の基礎として使用するコンクリート製の大型箱のこと。 担当／三國 美穂

システムの構築はゼロからのスタートで不安もありましたが、少しずつ形となり、2024年9月には土台の部分がほぼ完成し、本格的な導入へ向け、準備を進めているところです。

一定の情報を入力し、プロンプト(AIなどのシステムに指示を与えるための言葉や文章)を打ち込むことで、短時間で利用者の課題や目標が提示される仕組みになっています。そして、ケアマネジャーが思い描く課題や目標と大

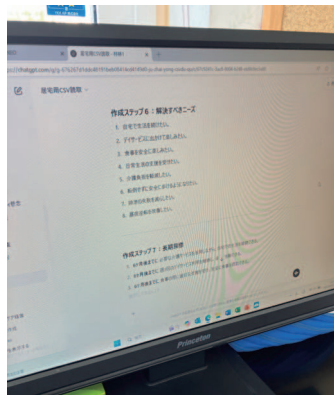


生成AI(チャットGPT)への情報入力

ケアマネジャーの重要な役割のひとつが「ケアプラン」の作成です。これは、利用者一人ひとりに最適なサービスを提供するために、利用者の体調や生活環境、家族の状況を考慮し、どのような介護や支援が必要かを詳しく計画するものです。

「ケアプラン」の作成には、とても時間がかかり、ケアマネジャーの業務負担がとて大きくなっています。また、経験豊富なベテランと新人との間で、プランの質に差が出ることも懸念されておりました。

この課題を解決するため当法人では、2024年4月、生成AIを活用した新たなシステムの開発に取り組み始めました。



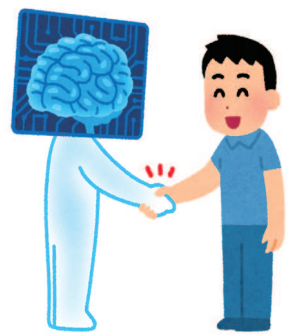
プロンプトの入力例

きなズレもなく、精度の高さを実感できました。

2025年2月から本格的に導入。これまでは文章化に多くの時間を費やしていましたが、ケアマネジャーによる事前の情報入力を行えば、AIの活用により、わずか5分程度でケアプラン作成のための文章の組み立てができるようになりました。その結果、業務の効率化が進み、削減された時間を多くの利用者のアセスメントやモニタリングに有効活用できるようになりました。

生産性向上!!
「みちのくケアプランセンター」
生成AIでケアプラン作成

当法人の業務改善プロジェクトチームの取り組みが、新聞やテレビ番組で紹介されました。



もともと、AIの精度は入力されたアセスメント情報に左右されるため、ケアマネジャーの情報収集力は依然として重要です。今後は、生成AIが作成するケアプランの精度をさらに向上させ、家族や近隣住民、ボランティア団体などが提供する支援の活用についてや、地域のコミュニティ、交流イベントなど、その地域における様々な活動への参加についてを組み込んでいけるような、手直し不要の高品質なプランを目指していきます。

新たな技術の導入、活用により介護の現場がどう変わっていくのか、今後の課題となっております。

やさしい街づくりを応援しています。



5月30日、「Hula Hula Hoaloa」の皆さんが、「ケアハウスみちのくグリーンリブ」を訪れ、フラダンスを披露してくれました。

馴染みのある歌謡曲に合わせて利用者と一緒にご歌ったり、踊ったり、とても楽しいひとときを過ごしました。

ケアハウスみちのくグリーンリブ
フラダンスボランティア

快適な生活環境を目指して
谷川環境衛生開発株式会社
代表取締役 谷川 聡

営業項目

- ・浄化槽保守点検・浄化槽清掃
- ・下水処理施設・集排水処理施設維持管理
- ・産業廃棄物収集運搬
- ・排水処理プラント維持管理
- ・排水管・排水幹線洗浄及び側溝清掃
- ・一般廃棄物最終処分場維持管理

創業 昭和44年1月
所在地 〒035-0051 青森県むつ市新町41番1号
TEL 0175-22-2659 FAX 0175-22-7783
フリーダイヤル 0120-12-2659
E-mail tanikawa@alpha.ocn.ne.jp

9/28 (日) 下北文化会館
14:00開始 / 2,200円
津軽塗とぎ出しワークショップ

あそび塾 vol.9

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社
ニッショク
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目 13-35
電話(0175) **22-7222**
FAX(0175) **22-7081**

★ 世界に届け!!
まるめろ式介護

よういのベトナム日記

法人では、ベトナム国立フエ中央病院内の国際医療センター高齢者介護科と連携して、ベトナムで高齢者介護ホームの運営をし、人ひとりひとりの心地よさを追及した法人独自の「まるめろ式介護」のグローバル化を目指しております。

『これだから介護はやめられない!!!』

シンチャオ! (こんにちは)
私は今、ベトナムの介護施設で働いています。

先日、号泣した出来事があり、改めて介護の仕事は尊いなど再認識しました。当施設に半年ほど利用されているチャムさん、住職の方です。入居当時は介護を拒否し、食事も摂れず、危うい状態が続いていました。今は表情も良く、毎日の食事も摂り、気分の良い日は大きな声で歌を唄っています。
先日、甥御さんが面会に来てこう話してくれました。



誕生日のお祝い～チャムさんの甥とスタッフに囲まれて～

「今日来たのは、チャムさんについて話してきました。チャムさんは、愛情を知らずに生きてきました。
ベトナム戦争で、目の前で母親と兄弟を失い、お寺に入ってから他人と関わる事を嫌い、怒鳴り、人を信じない、そのような生活を50年以上してました。愛情を知らない人生だった。だから、日本人の「愛情」や「ぬくもり」を感じて欲しい、と思いいこの場所を選びました。
私の考えは間違っていないでせう。あなたたちは、昼夜関係なく、チャムさんが眠れなかったり興奮している時には、そっと寄り添い背中をさすったりしていましたよね?
私には分かりません。感じています。その愛情はチャムさんにも伝わっていると思います。」

ベトナムでの心温まる情報を、ホームページで見ることが出来ます。
こちらから簡単アクセス!!



お散歩をするチャムさんと澤口さん



50年以上、親族も誰も近寄れなかったチャムさんに、常に寄り添いケアをしている。家族の様ですね。チャムさんの安心している表情を見てそう感じます。そのような事は誰にでも出来る事ではありません。
私は、世の中はお金が一番と思っていましたが、お金よりも大切な物があると感じました。
「お寺に居る」という心ない話もありますが、私はこの場所を選んでよかったと思っています。ホームの職員の愛情のある接し方に、絶大な信頼を持っています。心から感謝しています。」

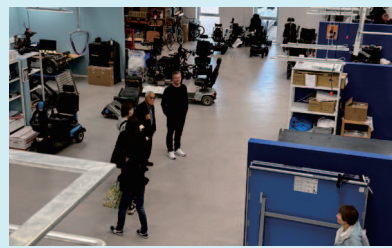
この言葉を聞き、涙が溢れました。
言葉の壁や介護を拒否されることに苦しい日々もありましたが、寄り添い続けてよかった。「あきらめずに寄り添ってよかった」「言葉は通じなくても、心は通じる」や「やっぱり、これだから、介護はやめられない! 現場は毎日ドラマの様です。辛い事もあります。それ以上に嬉しい事、心が震える事があります。「人が人を支える」という本当の意味を知りました。
誰かのそばにそっと寄り添う優しさを、これからも大切にしていきたいと思っています。
担当/澤口 陽子

デンマーク・フィンランド視察調査報告①

特別養護老人ホームみちのく荘 施設長 今 友明

2025年5月末、社会福祉法人つくし会の熊谷理事長が主催する研修視察に参加しました。高齢者施設や障害者施設、保育園を見学し、福祉先進国デンマークを中心に現状を学びました。デンマーク在住でバンク・ミケルセン記念財団理事長を務める千葉氏の案内のもと、初日はデンマーク第4の都市オーデンセ市にある「補助器具センター」を視察しました。

このセンターでは、車いすや歩行器などの大型補助器具を専門に取り扱っており、オーデンセ市の人口約21万人のうち約1万4千人にサービスを提供しています。管理している補助器具は7万点以上にのぼり、必要に応じて再利用が行われています。



オーデンセ市 補助器具センター内

利用者やその家族が申請を行うと、理学療法士(PT)や作業療法士(OT)が最も適切な補助器具を選定します。センターでは、その判断に基づき中古機器を整備・再利用し、利用者一人ひとりに合わせてカスタマイズしたうえで提供しています。驚いたのは、器具の提供がすべて「無料」であり、日本のような制度的制約はありません。しかも、体調が変われば、再審査によりすぐに新しい器具に切り替えることや、即日対応も可能な柔軟な体制が整っています。こうした制度の運営はオーデンセ市が担っており、税金を財源とした非営利の仕組みで成り

立っています。スタッフは技師や事務職を含む多様な専門職で構成され、約30名が従事しています。採用される補助器具は、企業製品であっても厳正な審査を通過したものに限定されており、「必要な人に、高品質なものを最も安く提供する」という理念と、「税金で支える福祉」という市民の理解が制度の根幹を支えています。

センター長によれば、「我が国でも年々高齢化が進んでおり、近い将来には介護の担い手が不足することが予想されています。そのため、ロボットやICT機器など、福祉機器のテクノロジー化によって介護現場の生産性を高めようという動きが政府主導で進められています」とのことでした。実際、デンマークでは医療・介護の電子化が早くから国家レベルで進められており、各専門職が利用者一人ひとりの情報を効率的に共有しています。それにより、現場の介護職員が専門性を十分に発揮できる環境が整っており、結果として介護の質の向上や業務の効率化に繋がっていることを視察を通して実感しました。



視察団一行(写真2列目左から4番目 今 施設長)

みちのくクリニックの副院長を紹介

みちのくクリニックドクターズカルテ

7月1日から、「みちのくクリニック」副院長に就任した貴田岡博史医師をご紹介します。

貴田岡医師は、岩手県一関出身で東北大学医学部を卒業後、岩手県内の県立病院などで病院長を歴任されました。趣味は競馬や、野球、バスケットボールなどのスポーツ観戦です。ご縁があってむつ市に来たからには、寒立馬を見に行くことや、市内のグルメを満喫することを楽しみにしています。



「一人ひとりにしっかり寄り添い、信頼される医療を提供したい」という思いを大切に、診療にあたっています。

市民の皆さまの健康づくりのお手伝いができるよう、どうぞよろしくお願いいたします。

みちのくクリニック診療日変更のお知らせ

2025年8月1日より診療日が変更になります。

受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:00~11:30	●	●	●	●	●	/	/
13:30~16:30	●	●	●	●	●	/	/
休診日	土曜・日曜・祝日・年末年始						

やさしい街づくりを応援しています。

《技術に生きる》
病院設備機器・研究設備機器

株式会社 **三バロ 医理科**
むつ営業所

〒035-0063 むつ市若松町2-54
TEL 0175(23)8760
FAX 0175(23)8761

お客様へエネルギーの創造と革新を提供し、経済・社会の発展に努めます。

ENEOSグローブエナジー株式会社
URL <http://eg-energy.jp/>

むつ支店：むつ市南赤川町10-27
TEL 0175-22-8320

岩盤浴・みもくし・コラーゲンマシン etc...
こころ、からだ、ステキにすこやかに。

SAKURA
岩盤浴＆リラクゼーション さくら

☎ 0175-23-8700
〒035-0054 青森県むつ市海老川町3-11

【営業時間】 9:30~12:00, 13:00~18:00
※窓口・電話受付 17:30まで
【定休日】 毎週水曜日・年末年始

特定技能外国人職員
全国老人福祉施設協議会
情報誌に掲載

2024年5月にインドネシアから仙台市にある「特別養護老人ホームまるめろ」にて、特定技能として日本語と介護を学びながら働いている、アプリアリスジャヤンティさんとアラヌルボドロシウィさんが公益社団法人全国老人福祉施設協議会が発行する情報誌「S Week」977号内の、「外国人介護人材受入れ制度早わかりガイド2025」の表紙に掲載されました。

外国人介護人材受入れ制度早わかりガイド 2025